

## 研究協力のお願い

昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>併存性障害治療プログラムの予後調査</p>
<p><b>1. 研究の対象および研究対象期間</b></p> <p>2010年1月1日～2017年10月31日までに当院に入院し、アルコール・薬物などアディクション関連の問題を指摘された患者様</p>
<p><b>2. 研究目的・方法</b></p> <p>アルコールや違法薬物の有害使用、処方薬の乱用などアディクション関連の問題は多くの内因性疾患（統合失調症やうつ病など）に合併しやすく、合併すると予後が悪化すると言われています。そのため当院では併存性障害治療プログラムを施行していますが全員がプログラムに参加しているわけではありません。本研究ではプログラム参加者、プログラム不参加者それぞれの予後を調査することで本プログラムの効果を確認することと改善点を抽出することを目的とします。</p> <p><b>研究期間</b></p> <p>昭和大学附属烏山病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから2019年3月まで</p>
<p><b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b></p> <p>情報：年齢、性別、主診断名、従診断名、入院時入院形態、転棟の有無、入院までの経過、退院後予後、プログラム開始時、終了時の心理検査（SOCRATES、GSES、DAI-10、AUDIT）、プログラム終了後時間において心理検査を行っている場合はその結果、使用社会資源、就労有無、生活環境</p>
<p><b>4. お問い合わせ先</b></p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、資料・情報が当該研究に用いられることについて本人もしくは本人の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>所属：医学部精神医学講座 氏名：常岡俊昭（研究責任者）</p> <p>住所：157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11 電話番号：03-3300-5231</p>